

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート
[団体名：一般財団法人福岡県バレーボール協会]
[記載日：令和5年3月1日]

【対応状況に係る自己評価】

- A：対応している
- B：一部対応している
- C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 本法人は一般財団法人に関する法律及び定款に沿った法令や規程を遵守しながら団体運営を行っている。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 公共の施設を使用する大会等については、当該施設の使用に係る規則や、当該施設を所管する地方公共団体が定める安全管理に関する条例等を遵守し事業運営を行っている。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 定款に基づき役員選定委員会において評議員、理事、監事を選任し、定期的に評議員会、理事会、加盟団体総会を開催したうえで決算や事業報告等を行っている。また5つの専門委員会を設置し、適切な団体運営及事業運営に取り組んでいる。	

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 毎年度活動方針を策定し、加盟団体総会において目標達成のための主要活動を公表している。	A
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 組織内においてコンプライアンス担当者を選任し、年1回中央団体が開催する研修会に参加している。また、加盟団体総会時に各団体へ暴力行為やセクハラ、パワハラ行為等の防止について周知を図っている。	A
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 法人の会計処理が適切に行えるよう、経理規程に必要な事項を定めている。また税理士と業務委託契約を結び、指導・助言を受けながら公正な会計原則を遵守している。	A
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 補助金を受ける際は、実施主体が定める補助金に関する実施要項等、補助金要項を遵守し適切に処理している。	A

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 法人の規約に基づき、監事による監査を受けると共に、前年度の会計に関する書類の承認を受けている。	
原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 一般財団法人に関する法律の規定、また本法人の定款、経理規程に基づき決算等の情報開示を行っている。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 当協会のホームページを活用し、今後はより質の高い情報開示に努めると共に、国・県の方針に従い、本ガバナンスコード セルフチェックシートを掲載し広く公開する。	
原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則■について	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
原則■について	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	

原則■について (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
原則■について (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	